

事業計画書

事業名	発達障害・不登校等の親の会事業
団体名	あんだんて

事業概要	
<p>松戸市内で、発達障害や、グレーゾーンの子育て、不登校や不登園、いきしぶり、ホームスクーリングについての情報提供と仲間作り、当事者同士の交流会を目的とする。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>近年発達障害が認知され、診断やクリニックに繋がりがやすくなっているとはいえ、予約が取れるまで3ヶ月待ち、と言うことも少なくなく、母親の孤独は消えることがない。学齢期になると、障害ゆえの差別やいじめ、また教員不足などから適切な支援に繋がっていない子も多い。松戸市でも全ての支援学級が特別支援学級の知識を持った職員で構成されているわけではなく、場当たりの支援に困惑している当事者・保護者も多い。</p> <p>当団体では、発達障害ゆえの悩み、孤独や情報を共有できる場所、仲間作りが必要だと考え、子育ての孤立感をなくすことをテーマに活動する。</p> <p>また発達障害を理由に不登校になる児童も多い。学びの保証がされていない保護者の不安にも居場所提供を通じてアプローチしたい。</p>
事業の目的	<p>発達障害児・不登校等のマイノリティ子育ての大変さに共感し、孤独や情報を共有できる場所、同じような境遇のママ友・仲間作り、子育ての孤立感をなくす。</p> <p>また今年度は、子育てに行き詰まりそうな保護者の傾聴を行うメンター養成に向けて、メンバー内で養成プログラムを組みたいと思っている。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 毎月1回 おしゃべり会を行う。そこでは保護者の最近の悩みを聞いたり、市内の病院・クリニック・療育機関などの情報交換を行う。</p> <p>(2) 親子レクリエーションの実施。年2回遠足（水族館など）と、絵本の読み聞かせなど親子で集まれる場所を提供する（年8回程度）</p> <p>(3) 外部講師による講演会、勉強会</p> <p>発達障がい・不登校・ホームスクーリング等、スペシャルニーズの子育てに関わる方を対象とした勉強会を行う。</p> <p>(4) 事業内容についてチラシ制作・配布。</p> <p>〈対象外事業〉</p> <p>メンバーのスキルアップを行う。</p> <p>メンバーの傾聴スキルアップ講座への参加</p> <p>ペアレントメンター養成、ファシリテーション指導・勉強</p>

	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4～3	おしゃべり会	構成員、希望者（市内外問わず）、さくら広場・およびオンラインにて
	6、10	講演会・勉強会	構成員、外部講師、希望者（市内外問わず）、オンラインまたは市内のホールなどをお借りする。
	9	親子レクリエーション	構成員、希望者（市内外問わず）、場所未定
	7～3	メンバーのスキルアップについて	傾聴スキルアップ講座への参加、ペアレントメンターの養成、ファシリテーション指導・勉強
既存の事業からステップアップする部分 （ステップアップ助成のみ）			
事業の目標	<p>発達障害・不登校等の子育ては通常の子育てに比べて大変さが多いので、そこを保護者同士で励ましあいながら、仲間づくりをする。</p> <p>オンラインおしゃべり会を増やすことで、子育て中の母親が子どもを預けておしゃべり会や相談会に行きにくい状況を改善する。（オンラインツールのレクチャー、環境設定支援含む）目標参加者数は6名。</p> <p>傾聴スキルアップ講座への参加（コアメンバーに対して）参加者2名 ペアレントメンターの養成やファシリテーション指導。 上記傾聴スキルアップ講座を受講した2名と、他2名。</p>		
今後の展望	<p>発達に偏りがある子供達の将来が明るくなるよう、支援級選び、支援学校選び、不登校・ホームスクーリングなどの選択肢を共有しつつ、高校進学へ続く情報を切れ間なく提供できるよう、幅広い年齢層の保護者との関わりをつないでいく。</p> <p>発達に偏りのある子育てが原因で、虐待・いじめ・自殺など、過酷な問題が隣合わせにある状況とを感じる。保護者が悩みを抱えることなく、前進できるよう、先輩ママ（ペアレントメンター）の役割を担う構成員の育成を行う。また今年度より、「発達障がい児の子育て会」の名称を削除し、子育ての孤独や保護者支援に目を向けていきたいと思っている。</p>		

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 38,200	事業費の一部を団体の会計より拠出
	会費	¥ 21,600	300円×72人（毎月6名程度）
	自己資金の合計額（A）	¥ 59,800	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	
合計額（C）＝（A＋B）		¥ 159,800	

【支 出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 50,000	外部講師謝礼 5000円×4回（勉強会） 30000円×1回（講演会）
	消耗品費	¥ 13,000	印刷用紙 500円 インク 2,500円×2セット 封筒 3,000円（6円×500枚）封筒代 文房具等 4,500円
	印刷製本費	¥ 6,000	チラシ印刷 3000枚印刷、2円×3000枚
	使用料及び賃借料	¥ 12,000	会場使用料 1,000円×12回
	通信運搬費	¥ 55,800	郵便代 140円×210施設（保育園・幼稚園等施設） Zoom利用料 2,200円×12ヶ月
	食糧費	¥ 8,000	お茶菓子代 500円×12回（おしゃべり会）、講演会（2,000円）
	委託料	¥ 4,000	チラシデザイン委託料 1件 4,000円
	対象経費の合計（D）		¥ 148,800
そ の 他 経 費	メンバー研修費	¥ 11,000	外部傾聴セミナー参加（会員） 5,500円×2名
その他経費の合計（E）		¥ 11,000	
合計額（F）＝（D＋E）		¥ 159,800	

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が対象となる経費（D）欄の90%以内、自己資金（A）欄が対象経費（D）欄の10%以上であること。
- 2 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。